



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

<報道資料>

報資—20—01
2020年6月

仙台うみの杜水族館

ゲンジボタル、ヘイケボタル2種のホタル繁殖成功
夏の風物詩「ホタル」を楽しめる

ホタルの杜

【2020年6月13日（土）～6月28日（日）】

海と人、水と人との、新しいつながりを「うみだす」水族館『仙台うみの杜水族館』では、2020年6月13日（土）～6月28日（日）の期間、ホタルの特別展示「ホタルの杜」を開催いたします。



<お客さまのお問い合わせ先>

TEL : 022-355-2222 <http://www.uminomori.jp>



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

●ホタルの杜

特別展示「ホタルの杜」は、照明を落とした展示水槽内をのぞき穴から観察できる展示で、ほのかに光る美しいホタルの姿をご鑑賞いただけます。展示するホタルは、当館で繁殖したゲンジボタルとヘイケボタルの2種類で、常時20～30匹展示いたします。また、ホタルの幼虫と、幼虫が主食とするカワニナの生体展示や、生態解説・繁殖の取り組みのパネル展示も行います。



※展示イメージ



【ゲンジボタル】

体長約15mm。日本固有種で一般的なホタル。
水がきれいな川などに生息し、幼虫はエサとなるカワニナを捕食して成長します。



【ヘイケボタル】

ゲンジボタルよりもやや小型のホタル。
水田や湿地などにも生息し、幼虫は雑食性でカワニナ以外の水生生物も捕食します。

【特別展示 ホタルの杜】

期 間 : 6月13日(土)～6月28日(日)

場 所 : 1階 親潮ギャラリー

旧マリンピア松島水族館から続くホタル展示の取り組み

2015年5月に閉館した「マリンピア松島水族館」では、2012年から2014年まで毎年ホタル展示を実施していました。これは、当時の飼育スタッフが泉ヶ岳で見たホタルの風景に感動し、お客さまへ伝えたいという想いから始めたものでした。ホタル展示は、自然界から成虫を採集して展示するわけではなく、幼虫から飼育していく必要があるため、容易ではありません。2012年は採集個体を15日間展示することができましたが、繁殖個体を成虫に成長させることはできませんでした。



【画像：マリンピア松島水族館ホタル展示の様子（2013年）】

2013年も繁殖個体を展示させることには至らず、2014年になって初めて繁殖個体を展示することに成功し、約28日間に亘って展示いたしました。

「マリンピア松島水族館」閉館後、一度途絶えたホタル展示への取り組みですが、2019年に復活し、仙台うみの杜水族館として今回で2回目の特別展示となります。

「仙台うみの杜水族館」ではこれからも、近い将来姿を消してしまうかもしれない絶滅危惧種の繁殖や、その生息環境の保護に積極的に取り組んでまいります。

ホタルにおいては、今後も地域の方々との協力の元、必要最小限の個体を採取し安定した飼育下繁殖による種の保存を目指しています。